



# vol.5 「感染拡大下の年末年始」における 人の意識・行動

2021年3月

➤ 本調査内容に関する問合せ先  
電通総研：山崎、馬籠、千葉  
E-mail [d-ii@dentsu.co.jp](mailto:d-ii@dentsu.co.jp)

クオリティ  
オブ  
ソサエティ

電通  
総研

## 調査の目的

電通総研は、「クオリティ・オブ・ソサエティ」の活動の基盤として、「人びとの意識の変化がどのような社会を形づくっていくのか」を捉えるために、定量調査「電通総研コンパス」をアドホックに実施しています。本調査は、第5回目の調査となります。

2021年1月に入っても新型コロナウイルスの感染拡大は続き、政府は、1月7日に1都3県を対象に2回目の緊急事態宣言を出しました。また、1月13日に7つの府県にも緊急事態宣言を発出し、不要不急の外出の自粛（特に20時以降）や、飲食店の営業時間短縮などを要請。その他、緊急事態宣言が出されていない道や県でも、必要に応じて要請を行うとしました。

1回目の緊急事態宣言の頃と比べ、社会、経済活動を幅広くとめるのではなく、感染リスクの高いとされている飲食を伴うものを中心に対策がとられており、改めて人びとの意識や行動にも注目が集まっています。

電通総研は、この緊急事態宣言発出前の「感染拡大下の年末年始」における人びとの意識や行動に着目し、調査を行いました。そして一部、8月に行った電通総研コンパスvol.3「いつもと違う8月」における人びとの意識や行動と比べることを試みました。

\* グラフ内の各割合は全体に占める回答者の実数に基づき算出し四捨五入で表記しています。また、各割合を合算した回答者割合も、全体に占める合算部分の回答者の実数に基づき算出し四捨五入で表記しているため、各割合の単純合算数値と必ずしも一致しない場合があります。

## ■第5回 調査概要

調査時期：2021年1月15日、16日

調査方法：インターネット調査

対象地域：北海道・1都3県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）・愛知県・大阪府・福岡県

対象者：18～79歳男女 4,320人 ※高校生を除く

## ■設問項目

- Q 1：2020年の年末年始の休みの日数
- Q 2：年末年始の休みの日数を、昨年の年末年始の休みと比べた場合の増減
- Q 3：年末年始の休みの増減が新型コロナウイルスの影響を受けたかどうか
- Q 4：年末年始の移動に関して、新型コロナウイルスの影響で見合わせていること
- Q 5：年末年始の休みに実際にしたこと。今後（も）したいと思うこと
- Q 6：新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、社会のことを考える機会に変化があったか
- Q 7：新型コロナウイルスの収束が見通せない中、自身の行動を判断するために、影響を受ける人は誰か
- Q 8：年末年始の休みの自分や他人の行動をふりかえって、あなたの考えに近いもの
- Q 9：新型コロナウイルスの予防対策、ワクチンについて、あなたの考えに近いもの
- Q 10：2021年をどのような年にしたいか

■2020年の年末年始の休みの日数 Q1 年末年始の過ごし方についてお伺いします。あなたは、年末年始は何日間、休暇を取りましたか。

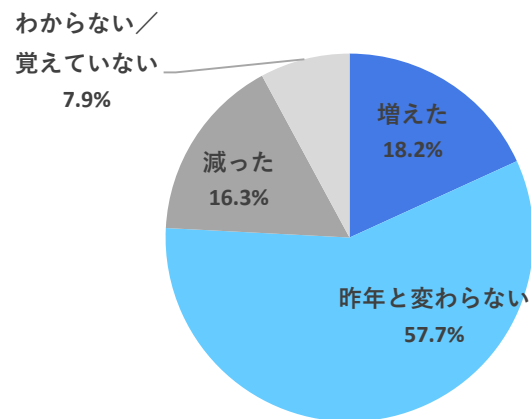
年末年始休暇の平均は、**7.91日**  
(N=4,320)

※専業主婦（主夫）、パート・アルバイト、学生、  
その他、無職を除いた場合 **7.04日**  
(n=2,160)

■2019年の年末年始の休みと比べた場合の増減

「昨年と変わらない」**57.7%**

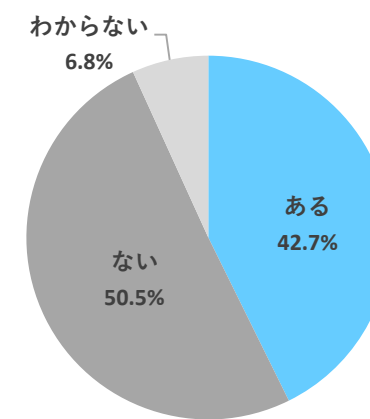
Q2 年末年始の休暇は、昨年と比べて増減はありますか。  
（「増えた」「昨年と変わらない」「減った」「わからない／覚えていない」の  
4 択から回答）



■年末年始の休みの増減が新型コロナウイルスの影響を受けたかどうか

コロナの影響が「ない」**50.5%**

Q3 昨年と比べて、年末年始の休暇が増減したことに、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）  
の影響はありますか。  
※Q2で「増えた」「減った」と回答した方を対象



## 【居住する都道府県内・海外での移動】大人数での会食を見合わせた人が最も多かった（35.0%）

## ■居住する都道府県内での移動で見合わせたこと

1. 大人数での会食（35.0%）
2. 年末年始の行事（カウントダウンイベント、初詣など）（31.2%）
3. 宿泊を伴う国内旅行（16.9%）

## ■都道府県をまたぐ移動・海外への移動で見合わせたこと

1. 宿泊を伴う国内旅行（22.2%）
2. 帰省（18.2%）
3. 大人数での会食（15.3%）

Q4 年末年始の移動に関して、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で見合わせたこと、もしくは、やむを得ず見合わせなければならなくなったことはありますか。ご自身が居住する都道府県内での移動と、居住する都道府県外・海外への移動について、それぞれあてはまるものをすべてお知らせください。（複数回答）

## ■居住する都道府県内での移動で見合わせたこと

	(%)
大人数での会食	35.0
年末年始の行事（カウントダウンイベント、初詣など）	31.2
宿泊を伴う国内旅行	16.9
高齢または幼齢の親族宅への訪問	15.3
帰省	14.6
日帰りの旅行	14.1
スポーツ観戦などのイベント参加やテーマパークなど多くの人が集まる場所に行くこと	9.8
仕事、出張	5.1
冠婚葬祭	3.5
その他	1.7

## ■都道府県をまたぐ移動・海外への移動で見合わせたこと

	(%)
宿泊を伴う国内旅行	22.2
帰省	18.2
大人数での会食	15.3
日帰りの旅行	13.2
年末年始の行事（カウントダウンイベント、初詣など）	12.7
高齢または幼齢の親族宅への訪問	10.2
スポーツ観戦などのイベント参加やテーマパークなど多くの人が集まる場所に行くこと	7.4
海外旅行	7.1
仕事、出張	4.3
冠婚葬祭	2.9
その他	1.1

	(%)
特に見合わせたことはない	25.1

2020年の年末年始に「実際にしたこと」「今後（も）したいと思うこと」は、どちらも「家族との時間を大切にすること」と回答した人が最も多く、また、2020年8月時点と比較しても同じ傾向だった。しかし、「実際にしたこと」の「家族との時間を大切にすること」は、2020年8月に比べ、4.2ポイント上昇した。

Q5 全国各地域の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染者数は、4月～5月にかけての全国的な緊急事態宣言の時期より、大幅に拡大していますが、年末年始にあなたが実際にしたことは何ですか。また、今後（も）したいと思うことは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをすべてお知らせください。（複数回答）

### ■実際にしたこと

1. 家族との時間を大切にすること（41.1%）
2. 人との接触を8割程度減らすこと（32.4%）
3. 自宅でできる趣味や娯楽など楽しい時間の充実（31.1%）

#### （参考）2020年8月時点に実際にしたこと

1. 家族との時間を大切にすること（36.9%）
2. 人との接触を8割程度減らすこと（35.2%）
3. 自宅でできる趣味や娯楽など楽しい時間の充実（34.2%）

電通総研で2020年8月21日～22日にかけて北海道・1都3県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）・愛知県・大阪府・福岡県を対象に実施した「いつもと違う8月」における人の意識・行動調査（N=4,320）

### ■今後（も）したいと思うこと

1. 家族との時間を大切にすること（42.7%）
2. 自宅でできる趣味や娯楽など楽しい時間の充実（35.2%）
3. 友人・知人とのつながりを大切にすること（26.6%）

#### （参考）2020年8月時点に、今後（も）したいと思ったこと

1. 家族との時間を大切にすること（39.2%）
2. 自宅でできる趣味や娯楽など楽しい時間の充実（34.6%）
3. 友人・知人とのつながりを大切にすること（25.7%）

電通総研で2020年8月21日～22日にかけて北海道・1都3県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）・愛知県・大阪府・福岡県を対象に実施した「いつもと違う8月」における人の意識・行動調査（N=4,320）

■新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、社会のことを考える機会は

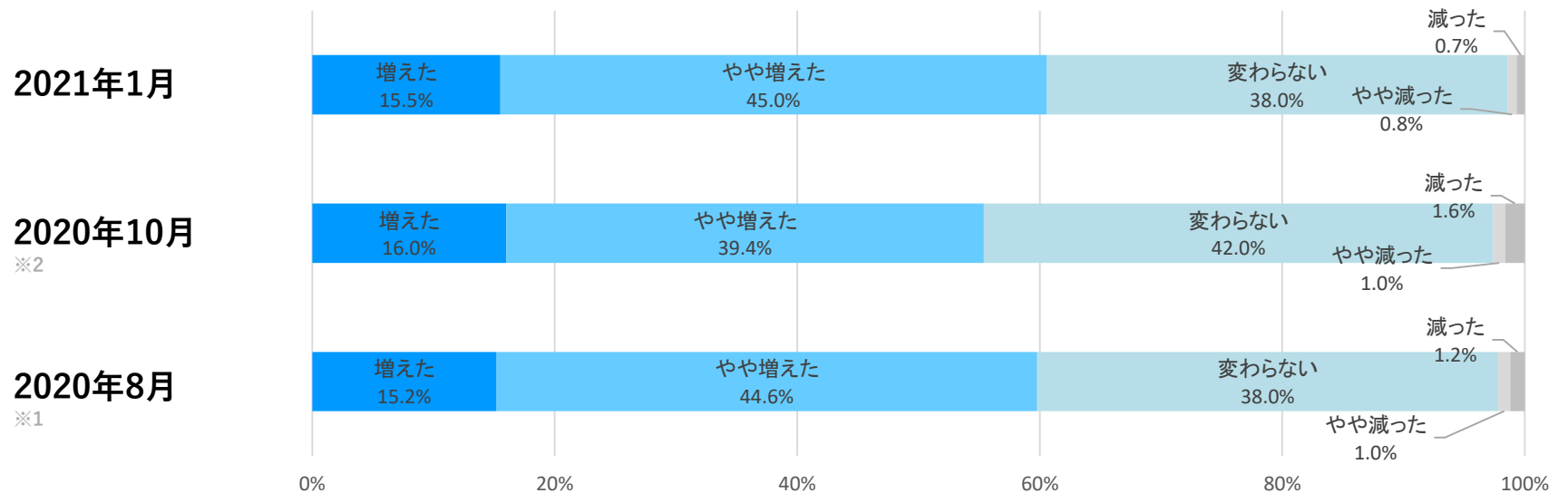
「増えた」計 — 60.5% (2021年1月)

55.4% (2020年10月)

59.8% (2020年8月)

※「増えた」「やや増えた」と回答した人の合計

Q6 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大をきっかけにして、社会のことを考える機会に変化はありましたか。  
（「増えた」「やや増えた」「変わらない」「やや減った」「減った」の5択から回答）



※1 参考値：電通総研で2020年8月21日～22日にかけて北海道・1都3県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）・愛知県・大阪府・福岡県を対象に実施した「いつもと違う8月」における人の意識・行動調査（N=4,320）  
 ※2 参考値：電通総研で2020年10月10日～12日にかけて全国を対象に実施した「職業」に関する人の意識・行動調査（N=3,000）

■影響を受ける人（あてはまる人すべて）

1. 家族（51.4%）
2. 医療専門家（29.8%）
3. 友人、知人（29.7%）

Q7 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の収束が見通せない中で、自分の行動を判断するために、あなた自身が影響を受ける人は誰ですか。あてはまる人をすべてお知らせください。また、その中で最も影響を受ける人をお知らせください。

■影響を受ける人（あてはまる人すべて） (%)

家族	51.4
医療専門家	29.8
友人、知人	29.7
医療現場の医師や看護師	28.3
特になし	20.2
政府（首相、官房長官など）	18.8
政府の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策分科会	17.7
住んでいる都道府県の知事	16.5
職場の上司や同僚	15.9
好きな芸能人・アーティスト・スポーツ選手	8.7
住んでいる地域の市区町村長	7.5
好きなYouTuberやインフルエンサー	4.5
その他	0.2

■最も影響を受ける人

1. 家族（31.5%）
2. 特になし（20.2%）
3. 医療専門家（10.5%）

■最も影響を受ける人 (%)

家族	31.5
特になし	20.2
医療専門家	10.5
医療現場の医師や看護師	9.7
友人、知人	6.5
政府（首相、官房長官など）	5.3
政府の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策分科会	4.6
職場の上司や同僚	4.1
住んでいる都道府県の知事	3.1
好きな芸能人・アーティスト・スポーツ選手	2.2
好きなYouTuberやインフルエンサー	1.6
住んでいる地域の市区町村長	0.5
その他	0.1

（参考）

■2020年8月時点で、影響を受ける人（あてはまる人すべて）

1. 家族（51.0%）
2. 友人、知人（30.8%）
3. 医療専門家（26.1%）

■2020年8月時点で、最も影響を受ける人

1. 家族（33.1%）
2. 特になし（21.9%）
3. 医療専門家（9.5%）

	(%)
家族	51.0
友人、知人	30.8
医療専門家	26.1
医療現場の医師や看護師	23.0
特になし	21.9
住んでいる都道府県の知事	17.5
政府（首相、官房長官など）	17.3
政府の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策本部	16.6
職場の上司や同僚	15.1
好きな芸能人・アーティスト・スポーツ選手	10.0
住んでいる地域の市区町村長	8.3
好きなYouTuberやインフルエンサー	5.2
その他	0.9

	(%)
家族	33.1
特になし	21.9
医療専門家	9.5
医療現場の医師や看護師	6.8
友人・知人	6.7
政府の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策本部	4.9
政府（首相、官房長官など）	4.3
職場の上司や同僚	3.8
住んでいる都道府県の知事	3.6
好きな芸能人・アーティスト・スポーツ選手	2.4
好きなYouTuberやインフルエンサー	1.8
住んでいる地域の市区町村長	0.7
その他	0.6

電通総研で2020年8月21日～22日にかけて北海道・1都3県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）・愛知県・大阪府・福岡県を対象に実施した「いつもと違う8月」における人の意識・行動調査（N=4,320）

Q8 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するあなたご自身の考え方について、お伺いします。年末年始の自分や他人の行動をふりかえって、あなたの考えはどちらに近いですか。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

■他者の行動への許容度

感染リスクがある中、行動を抑制しない人を

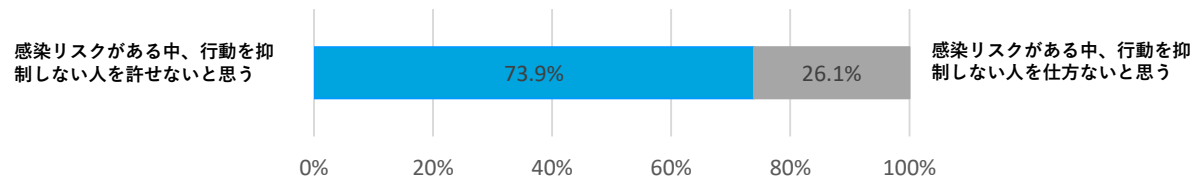
許せないと思う **73.9%**

※「Aに近い」「ややAに近い」計

感染リスクがある中、行動を抑制しない人を  
仕方ないと思う

**26.1%**

※「Bに近い」「ややBに近い」計



■2020年8月時点との比較（参考）

行動を抑制しない人を

許せないと思う **+ 5.2pt**

（参考）

2020年8月時点で、感染リスクがある中、

行動を抑制しない人を **許せないと思う 68.7%**

電通総研で2020年8月21日～22日にかけて北海道・1都3県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）・愛知県・大阪府・福岡県を対象に実施した「いつもと違う8月」における人の意識・行動調査（N=4,320）

Q8 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するあなたご自身の考え方について、お伺いします。年末年始の自分や他人の行動をふりかえて、あなたの考えはどちらに近いですか。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

■規制に対する考え方

行動を抑制するには、

法などで

規制した方がよい **77.1%**

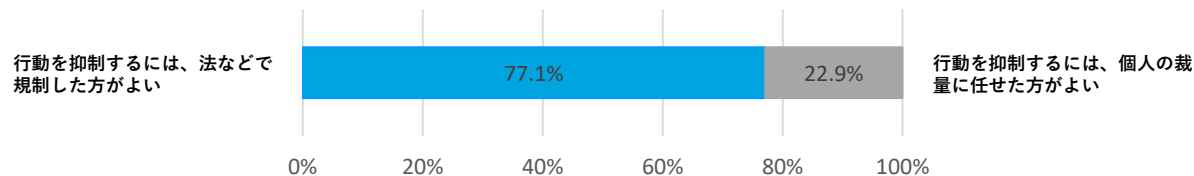
※「Aに近い」「ややAに近い」計

行動を抑制するには、

個人の裁量に任せたほうがよい

**22.9%**

※「Bに近い」「ややBに近い」計



■ 2020年8月時点との比較（参考）

行動を抑制するには

法などで規制した方がよい **+ 6.8pt**

（参考）

2020年8月時点で、行動を抑制するには、

法などで規制した方がよい **70.3%**

電通総研で2020年8月21日～22日にかけて北海道・1都3県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）・愛知県・大阪府・福岡県を対象に実施した「いつもと違う8月」における人の意識・行動調査（N=4,320）

Q8 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するあなたご自身の考え方について、お伺いします。年末年始の自分や他人の行動をふりかえて、あなたの考えはどちらに近いですか。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

## ■飲食店への許容度

飲食店が休業要請や営業時間短縮要請に従わないことは

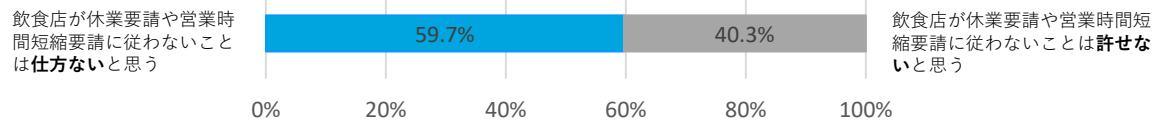
**仕方ないと思う 59.7%**

※「Bに近い」「ややBに近い」計

飲食店が休業要請や営業時間短縮要請に、

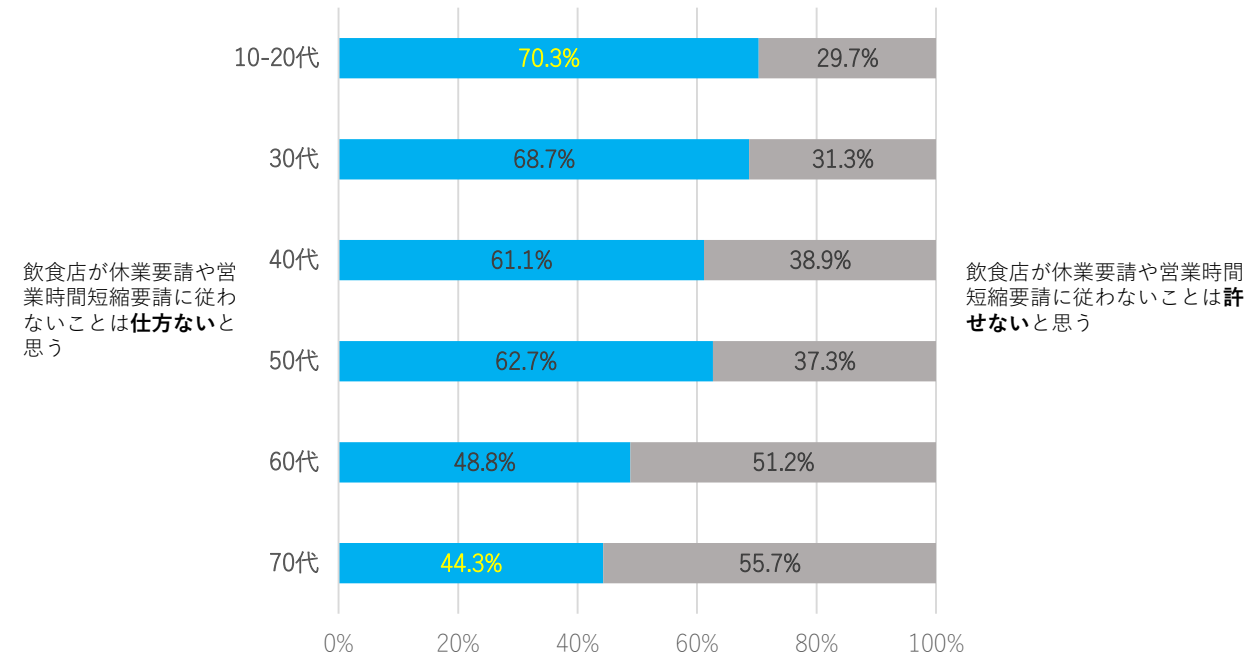
従わないことは**許せないと思う 40.3%**

※「Aに近い」「ややAに近い」計



## ■年代別

10-20代と70代を比較すると、「仕方ないと思う」では、26ポイントの差があり、年代により考え方が大きく異なる。



飲食店が休業要請や営業時間短縮要請に従わないことは**仕方ない**と思う

飲食店が休業要請や営業時間短縮要請に従わないことは**許せない**と思う

Q8 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するあなたご自身の考え方について、お伺いします。年末年始の自分や他人の行動をふりかえって、あなたの考えはどちらに近いですか。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

## ■感染拡大防止と経済活動活性化への考え方

感染拡大防止のために、年末年始は

行動を抑制すべきだった

と思う

89.4%

※「Aに近い」「ややAに近い」計

経済活動活性化のために、

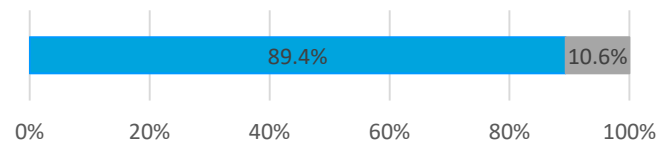
年末年始は行動を抑制すべきではなかった

と思う

10.6%

※「Bに近い」「ややBに近い」計

感染拡大防止のために、年末年始は行動を抑制すべきだったと思う



経済活動活性化のために、年末年始は行動を抑制すべきではなかったと思う

### ■ 2020年8月時点

(参考)

感染拡大防止のために、  
8月は行動を抑制しないと  
いけないと思う

79.2%

電通総研で2020年8月21日～22日にかけて北海道・1都3県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）・愛知県・大阪府・福岡県を対象に実施した「いつもと違う8月」における人の意識・行動調査（N=4,320）

2020年8月実施の調査と比較すると、「地方自治体が、地域ごとに」適切な感染対策を打ち出した方がよい、が9.5ポイント低下した。

Q8 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するあなたご自身の考え方について、お伺いします。年末年始の自分や他人の行動をふりかえって、あなたの考えはどちらに近いですか。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

### ■国と自治体への考え方

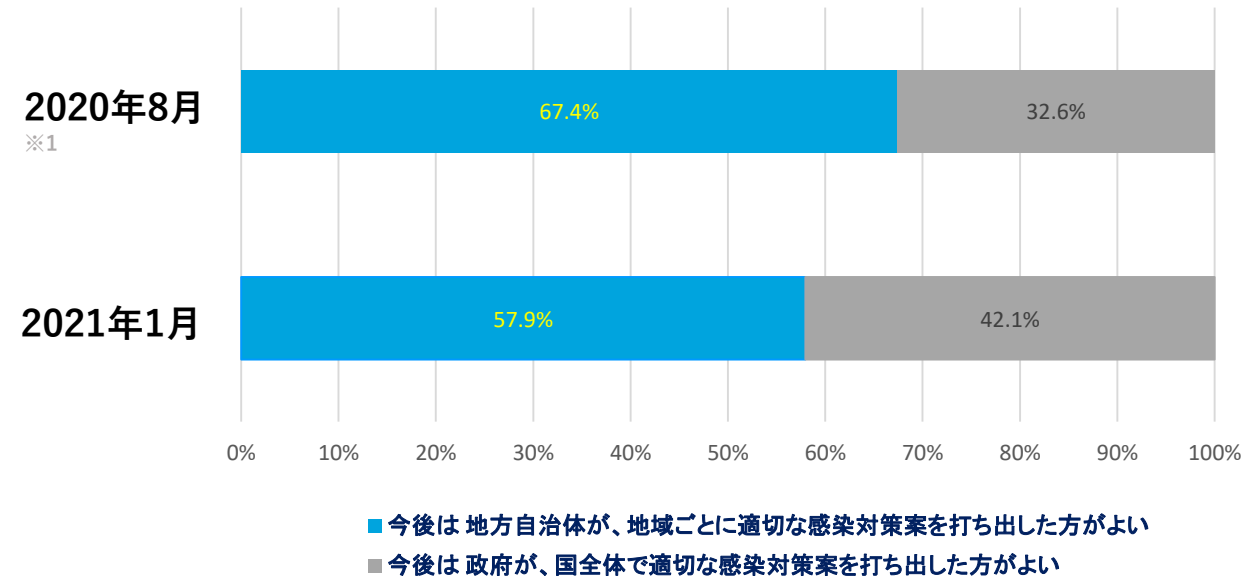
今後は 地方自治体が、  
地域ごとに適切な感染対策案を  
打ち出した方がよい **57.9%**

※「Aに近い」「ややAに近い」計

今後は 政府が、国全体で適切な感染対策案を  
打ち出した方がよい **42.1%**

※「Bに近い」「ややBに近い」計

### ■2020年8月実施の調査との比較



※1 参考値：電通総研で2020年8月21日～22日にかけて北海道・1都3県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）・愛知県・大阪府・福岡県を対象に実施した「いつもと違う8月」における人の意識・行動調査（N=4,320）

Q8 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するあなたご自身の考え方について、お伺いします。年末年始の自分や他人の行動をふりかえって、あなたの考えはどちらに近いですか。（「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

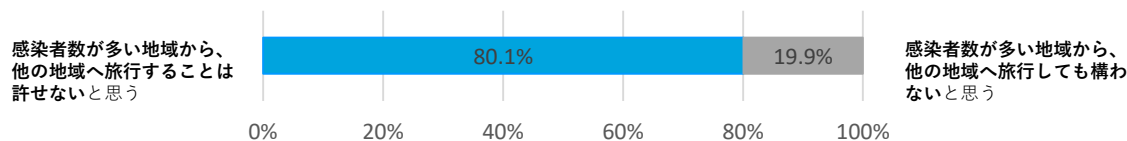
■感染者数が多い地域からの旅行への許容度

感染者数が多い地域から、  
他の地域へ旅行することは  
許せないと思う **80.1%**

※「Aに近い」「ややAに近い」計

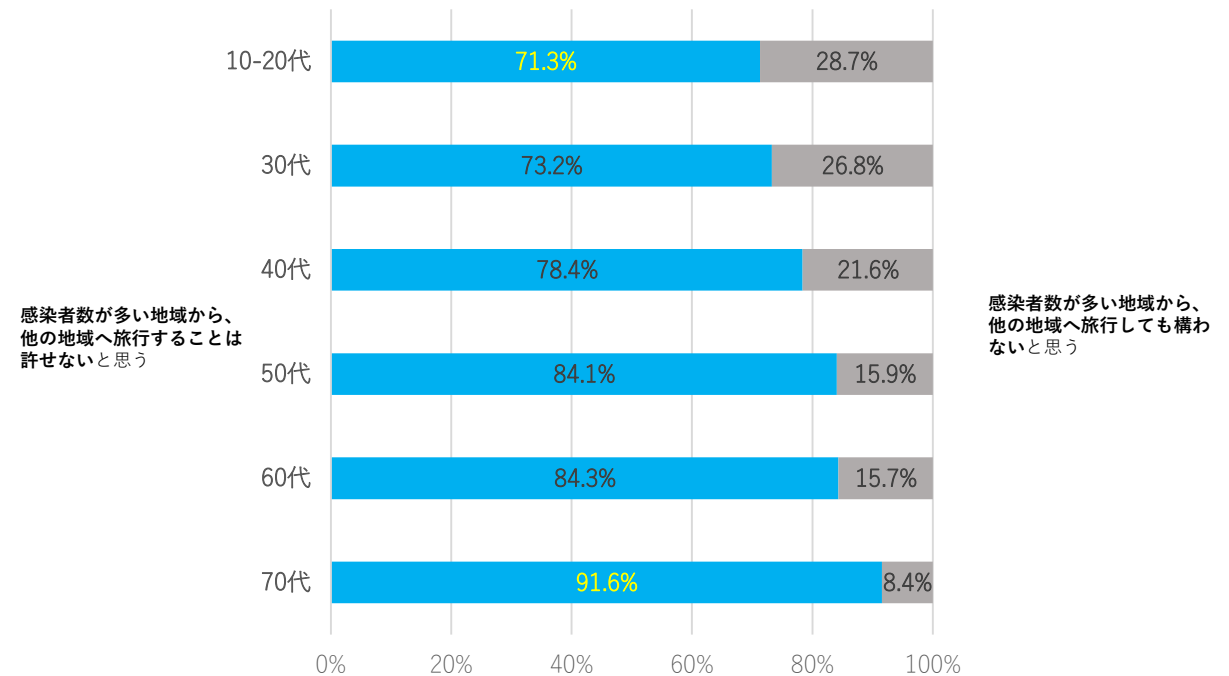
感染者数が多い地域から、他の地域へ旅行しても  
構わないと思う **19.9%**

※「Bに近い」「ややBに近い」計



■年代別

高齢層ほど、「許せないと思う」人が多く、10-20代と70代を比較すると、20.3ポイントの差がある。



感染者数が多い地域から、他の地域へ旅行することは許せないと思う

感染者数が多い地域から、他の地域へ旅行しても構わないと思う

Q9 引き続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するあなたご自身の考え方について、お伺いします。あなたの考えはどちらに近いですか。  
 （「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

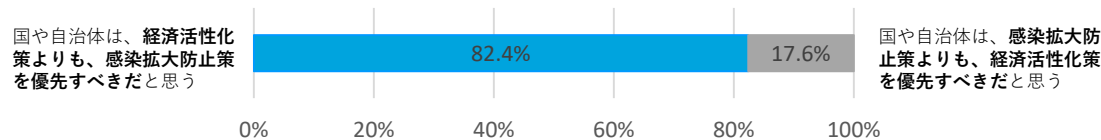
■国と自治体への考え方

国や自治体は、**経済活性化策よりも、  
 感染拡大防止策を優先すべき  
 だ**と思う **82.4%**

※「Aに近い」「ややAに近い」計

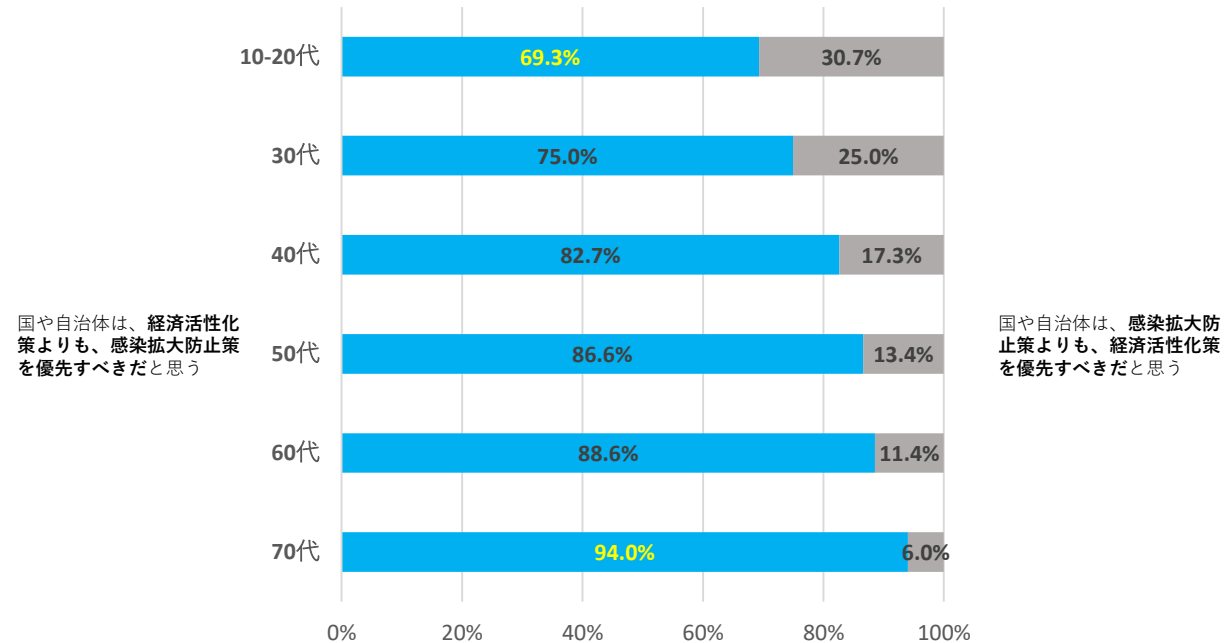
国や自治体は、**感染拡大防止策よりも、経済活性化策を優先すべきだ**と思う **17.6%**

※「Bに近い」「ややBに近い」計



■年代別

高齢層ほど、「感染拡大防止策を優先すべきだと思う」人が多く、10-20代と70代を比較すると、24.7ポイントの差がある。



国や自治体は、経済活性化策よりも、感染拡大防止策を優先すべきだと思う

国や自治体は、感染拡大防止策よりも、経済活性化策を優先すべきだと思う

Q9 引き続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するあなたご自身の考え方について、お伺いします。あなたの考えはどちらに近いですか。  
 （「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

■新型コロナウイルスのワクチンの承認について

新型コロナウイルスのワクチンは、

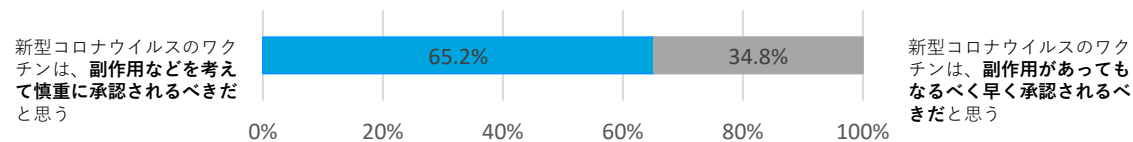
**副作用などを考えて慎重に**

**承認されるべきだ**と思う **65.2%**

※「Bに近い」「ややBに近い」計

新型コロナウイルスのワクチンは、**副作用があってもなるべく早く承認されるべきだ**と思う **34.8%**

※「Aに近い」「ややAに近い」計



■新型コロナウイルスのワクチン接種について

新型コロナウイルスの予防接種が国内で開始しても、

**すぐにワクチン接種をしたいとは思わない**

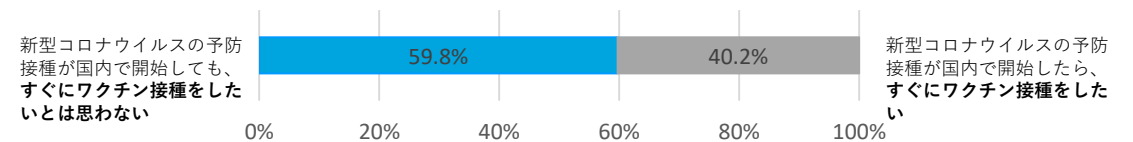
**59.8%**

※「Bに近い」「ややBに近い」計

新型コロナウイルスの予防接種が国内で開始したら、**すぐにワクチン接種をしたい**

**40.2%**

※「Aに近い」「ややAに近い」計



Q9 引き続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するあなたご自身の考え方について、お伺いします。あなたの考えはどちらに近いですか。  
 （「Aに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「Bに近い」の4択から回答）

■感染者やクラスター情報についての考え方

感染者やクラスター発生の情報は、

感染拡大防止のためにできる限り

公表した方がよいと思う

79.2%

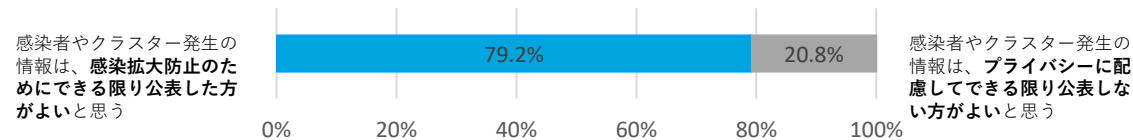
※「Aに近い」「ややAに近い」計

感染者やクラスター発生の情報は、プライバシーに配

慮してできる限り公表しない方がよいと思う

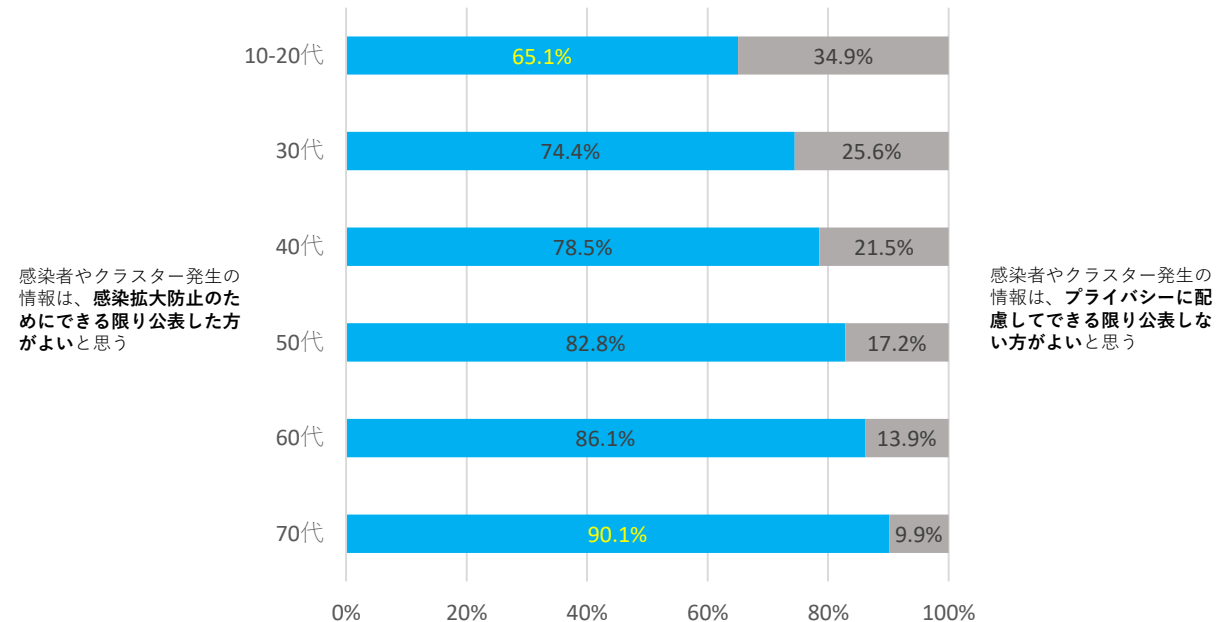
20.8%

※「Bに近い」「ややBに近い」計



■年代別

高齢層ほど、「公表した方がよい」と思う人が多く、10-20代と70代を比較すると、25ポイントの差がある。



感染者やクラスター発生の情報は、感染拡大防止のためにできる限り公表した方がよいと思う

感染者やクラスター発生の情報は、プライバシーに配慮してできる限り公表しない方がよいと思う



## ■考察

2020年の年末年始に「実際にしたこと」「今後（も）したいと思うこと」は、どちらも「家族との時間を大切にすること」と回答した人が最も多く、2020年8月時点よりも上昇傾向にありました。同時に「感染リスクがある中、行動を抑制しない人を許せない（+5.2ポイント）」や、「行動を抑制するには、法などで規制した方がよい（+6.8ポイント）」も上昇するなど、他者に対する許容度は低くなってきていることがうかがえます。

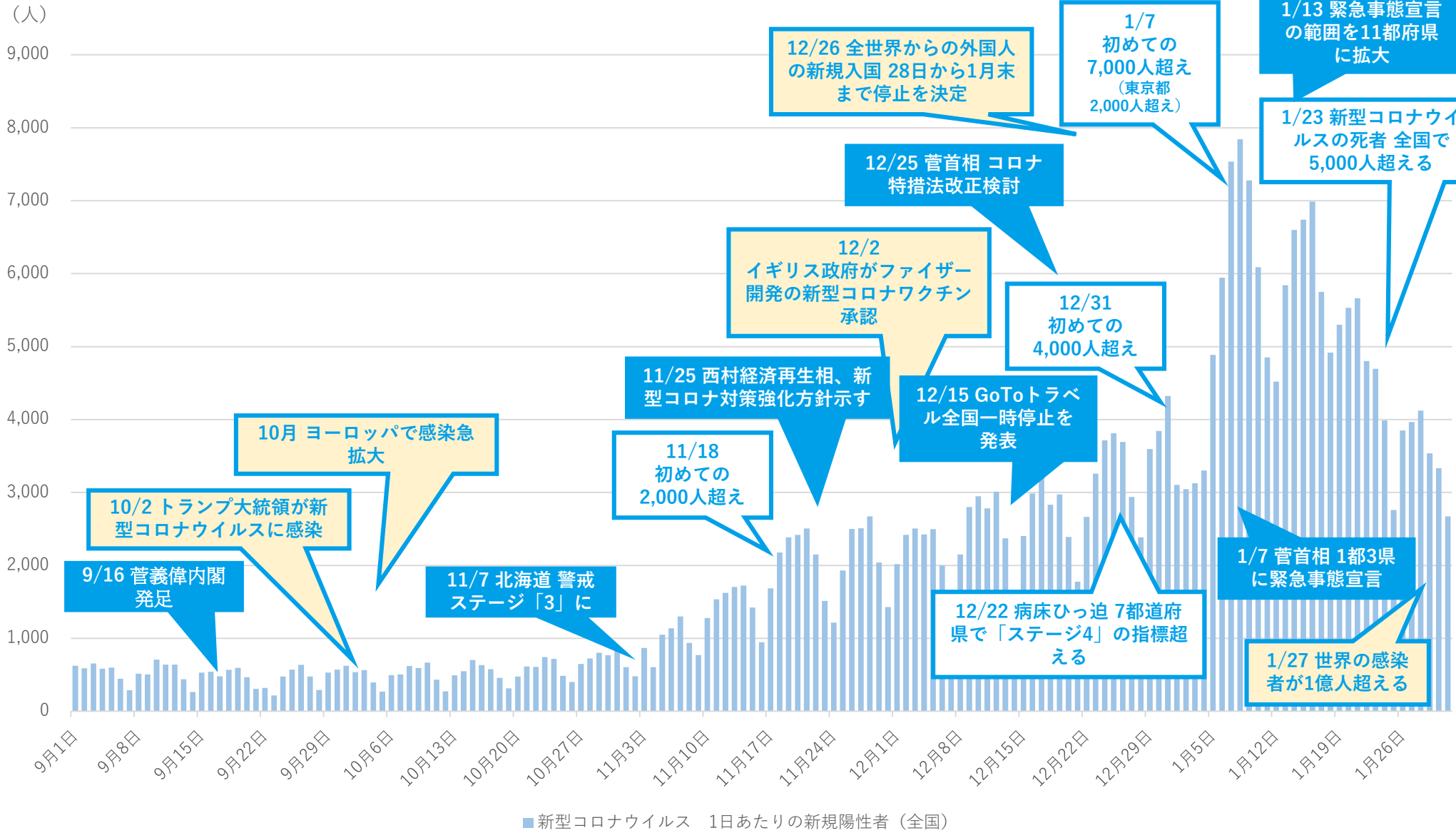
また、「地方自治体が、地域ごとに適切な感染対策案を打ち出した方がよい」が、8月の調査より9.5ポイント低下しており、感染の拡大により地域ごとではなく日本全体としての対策の要望が高まっています。

年代ごとで見ると、高齢層ほど、経済活動より感染防止対策を重視する傾向にありました。10-20代では、「飲食店が休業要請や営業時間短縮要請に従わないことは仕方ない」と思う人びとは70.3%にもものぼる一方、70代では44.3%と、年代間のギャップがみられます。また、「感染者やクラスター発生情報は、できる限り公表した方がよい」や「感染者数が多い地域から、他の地域へ旅行することは許せないと思う」などでも、年代によるギャップが大きく、感染防止対策に対する意識の違いが鮮明となりました。

2021年をどのような年にしたいかに対する自由回答では、名詞では「家族」「健康」、形容詞では「楽しい」「明るい」が上位となっており、家族で健康に過ごしたい、また、2021年を楽しく明るい年にしたいという気持ちが垣間見えました。

■2020年8月までの主なトピック

- 2/11 WHOがCOVID-19と命名
- 2/27 休校要請
- 3/9 専門家会議が「持ちこたえている」と発表
- 3/24 オリンピック延期決定
- 4/7 7都府県を対象に、緊急事態宣言発出
- 4/16 緊急事態宣言全国に拡大
- 4/25 1都3県 STAY HOME週間開始
- 5/4 緊急事態宣言、延長決定
- 5/14 39県で緊急事態宣言解除
- 5/21 2府1県で、緊急事態宣言解除
- 6/2 東京アラート発動
- 6/11 東京アラート解除。ステップ3へ
- 7/15 東京感染拡大警報発信
- 7/22 Go To トラベル・キャンペーン開始
- 7/29 新規陽性者が、初めての1,000人超え
- 8/25 赤羽国交相がGo To開始1か月で利用者420万人超えと会見
- 8/28 安倍首相辞任表明



※2021年2月4日時点